

赤十字さが

さがの人たちにもっと伝えたい、
佐賀の赤十字。



東日本大震災から7年。～ 私たちは、忘れない。～

2018赤十字運動イベント「防災セミナー」実施!

“地域”で考える“防災”

～あなたが暮らす町でも災害は起きる?～

新企画『赤十字 Supporters』

～赤十字を支える人たちを紹介します!～



2018

赤十字運動月間(5月)イベント実施!



日本赤十字社創立記念日(5月1日)や

創設者アンリー・デュナンの生誕日(5月8日)

などにちなみ、日本赤十字社では5月を

「赤十字運動月間」として定め、

さまざまな広報活動を実施します。

『地域』で考える『防災』

～赤十字防災セミナーを
県内各地で開催!～



自分が暮らす街で、
起きやすい災害は?
危ない場所は?



○お近くの会場にお申し込みください!

開催エリア	日程	時間	会場	申込先
唐津市	5/11(金)	13:30 ~ 15:30	唐津市文化体育館	0955-70-2334
伊万里市・有田町	5/12(土)	10:30 ~ 11:30	有田町福祉保健センター	0955-41-1315
佐賀市	5/24(木)	10:00 ~ 12:00	メートプラザ佐賀	0952-32-6670
多久市・小城市	5/26(土)	10:00 ~ 12:00	小城市「桜楽館」	0952-73-2700
武雄市・江北町・白石町・大町町	6/24(日)	10:00 ~ 12:00	白岩体育館	0954-36-5505
鹿島市・嬉野市・太良町	7/14(土)	10:00 ~ 12:00	鹿島市民交流プラザ「かたらい」	0954-62-2447
玄海町	(7月開催予定)		飯屋コミュニティセンター	0955-51-3073
鳥栖市・基山町・上峰町・みやき町	(秋頃開催予定)		(未定)	0942-81-6161
神埼市・吉野ヶ里町	(今年度開催予定)		(未定)	0952-37-0110

～ 救うことを、つづける。Since 1877 ～

『佐賀県庁とコラボ』

～赤十字レッドライトアップ
企画の実施!～



広く佐賀県民の皆さまにも、赤十字の理念「人道」の尊さを共有していただくため、5月1日(火)から11日(金)までの期間、下記内容により佐賀県庁とコラボした企画を実施します。

ぜひ、期間中に佐賀県庁へお越しいただき、各企画をご覧ください。

1. レッドライトアップ | 県庁旧館玄関を赤十字のイメージカラーである赤色にライトアップする。
2. 懸垂幕の掲示 | 県庁旧館玄関東側に赤十字運動協力を呼びかける懸垂幕を掲示する。
3. PR映像の放映 | 県庁1階県民ホール(大型スクリーン)で、赤十字PR映像を随時放映する。



いのちと健康を守る 赤十字講習会

赤十字では、人の生命を救う方法や、健康で安全に暮らすための知識と技術をお伝えする、赤十字講習会を行っています。

また、受講後(※ 検定合格者のみ)に資格認定証を発行する内容の講習も複数ございますので、お気軽にお問い合わせください。



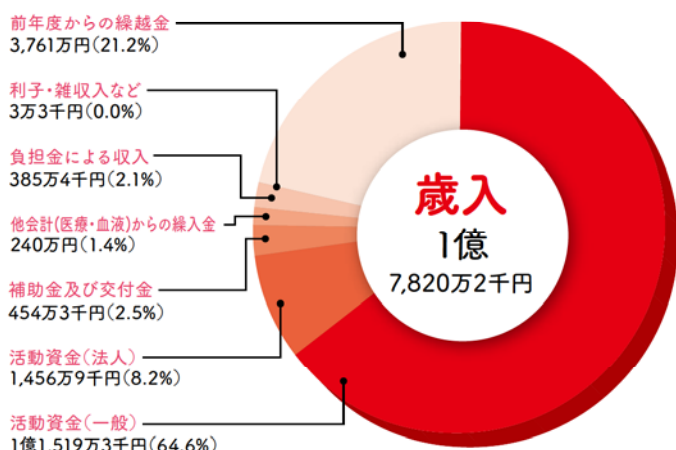
講習会	日時	会場	主な内容
健康生活支援講習 支援員養成講習	2日間 5/19(土)、5/20(日) 9:00～17:00	日赤佐賀県支部 (2階会議室)	健やかな高齢期を過ごすために役立つ知識や、介護の基本を学びます。
救急法基礎講習 救急員養成講習	3日間 6/2(土)、6/3(日)、6/9(土) 9:00～17:00	日赤佐賀県支部 (2階会議室)	災害や事故に遭ったり、急病になった人へのとっさの応急手当ができるような知識と技術を学びます。
幼児安全法支援員 養成講習	2日間 6/27(水)、6/28(木) 9:00～17:00	日赤佐賀県支部 (2階会議室)	子どものに起こりやすい事故の予防と手当、また、子どもの病気と看病のしかたについて学びます。
水上安全法救助員 I 養成講習	4日間 8/25(土)、8/26(日)、9/8(土)、9/9(日) 9:00～17:00	佐賀県総合運動場 (水泳場)	水の事故から生命を守るため、事故防止や溺者救助などの知識、実技を学びます。

平成30年度

日本赤十字社佐賀県支部の予算について

皆さまからの寄付をもとに、幅広く、継続的な支援を行います。

佐賀県支部評議員会において決議された、一般会計予算に基づき、今年度も県内における赤十字事業を展開いたします。



国内の災害救護活動
2,284万1千円(12.8%)



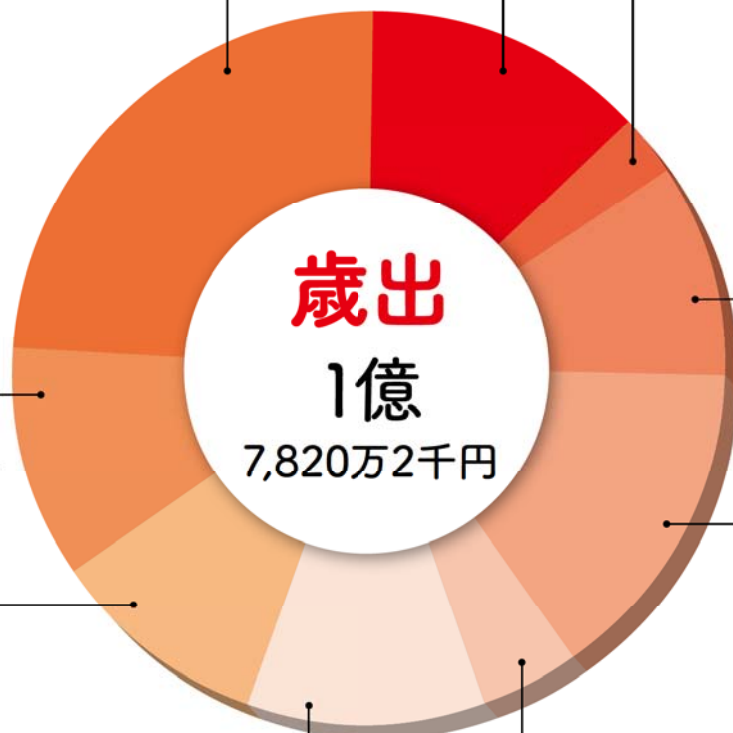
看護師を養成する
490万8千円(2.8%)

事業運営管理費
4,270万4千円(24.0%)

赤十字運動を普及する
1,913万4千円(10.7%)



地域の赤十字活動を
推進する
1,750万円(9.8%)



救急法などの講習を
広める
1,736万9千円(9.7%)

ボランティア活動を
支援する
2,623万8千円(14.7%)



全国の赤十字活動
(海外救援を含む)を推進する
1,936万9千円(10.9%)

地域医療と献血を推進する
813万9千円(4.6%)



献血リレーキャンペーン

血液を安定的に供給するためには、今まで以上に、皆さまからの献血へのご協力をいただく必要があります。これからも「いのちのリレーである献血」が、ずっと続くように新たな献血者のご紹介をお願いします！



献血がはじめての
子供さん、兄弟、友人、知人を
ご紹介ください！

一緒に献血された両方の方に・・・
献血プラザさがオリジナル「モバイルバッテリー」と
「マスキングテープ」をプレゼントします。

※ 無くなり次第、終了



今年も有田陶器市会場にて 献血を実施します。



第115回有田陶器市会場に今年も献血バスがやって来ます！
献血の必要性を理解して頂き、毎年、多くの皆さまにご協力を
頂いています。

また、会場にて献血をされた方には、特別な記念品もご用意
していますので、陶器市に来られた際は、ぜひ献血へのご協力
をお願いします！

日にち | 平成30年4月29・30日、5月3・4・5日
会場 | 有田陶器市 [有田町東出張所]
献血受付ののぼりや看板が目印です。



12月
25(月)

病院にサンタクロースが やってきた!

■クリスマスプレゼントを配布

クリスマスを病室で過ごす子どもたちに、病院スタッフが扮したサンタクロースとトナカイがプレゼントを届けました。毎年恒例となっているこの催し。例年は突然の訪問に驚き、泣き出してしまうお子さんもいましたが、今年のみな笑顔でプレゼントを受け取って嬉しそうにしていました。



+ December

1月
6(土)

第4回 赤十字奉仕団 研修交流会を開催!

■赤十字運動を支えるボランティア

佐賀県内に12ある赤十字奉仕団が、横の連携を深め、活動の幅を広げるための合同研修交流会を実施しました。各奉仕団から選出された実行委員を中心に企画・立案を行い、当日は約60名の方が参加しました。



+ January

2月
5(月)

神崎市 陸上自衛隊 ヘリ墜落事故への対応!

■被災家族へ救援物資を送達しました

平成30年2月5日(土)16時43分頃、神崎市千代田町の民家に陸上自衛隊のヘリコプターが墜落しました。これに対し日赤佐賀県支部では、日赤神崎市地区と連携し、同日夜に被災家族への救援物資(毛布、緊急セット等)送達を行いました。



+ February

2月
25(日)

牛津子ども祭りで 災害食を体験!

■地域イベントで地元の赤十字奉仕団員が活躍

子どもたちの健全育成を願うお祭りに、奉仕団が防災啓発ブースを設置しました。災害食づくりや赤十字救護服の試着など、体験を通して学びながら楽しめるイベントになりました。今年も近隣地域に住む奉仕団員が多数参加し、イベントを盛り上げました。



3月
3(土)

幕末維新150年佐賀ゆかりの偉人モニュメント除幕式

 March

■佐野常民のモニュメントが公開されました!

平成30年3月3日(土)、佐賀市中心部に設置された佐賀ゆかりの偉人モニュメント(25体)の除幕式が行われました。佐賀市駅前まちかど広場に設置された日本赤十字社の創立者である佐野常民のモニュメントの除幕には、常民の子孫の佐野常具氏をはじめ多数の赤十字関係者が参加しました。


3月
3(土)

AKB48 TEAM8 「とりま、献血!」

■10代向け献血推進キャンペーンを実施

10代の若者に献血の大切さを伝え、献血への協力を求めるためのキャンペーン「とりま、献血!」が、2月から九州7県で一斉にスタートしました。佐賀県赤十字血液センターでは、平成30年3月3日(土)、「献血プラザさが」にAKB48 Team8佐賀県代表の川原 美咲さんをお迎えして、一日献血ルーム所長の任命式が行われました。その後、川原さんには、献血協力の呼びかけと10代の献血者に対しオリジナルバッチの配布を行っていただきました。


3月
4(日)

いざという時に備えます!

■消防防災訓練

唐津赤十字病院で消防訓練を実施しました。休日にもかかわらず、唐津市消防署や地域の消防団の方々にご協力いただき、院内火災発生時の対応をシミュレーションしました。今回は唐津消防署で導入されたばかりの35m級はしご付消防車も稼働し、当院の屋上ヘリポートから職員を救助する実演も行いました。唐津赤十字病院では今後もさまざまな状況を想定した防災訓練を実施していきます。


3月
10(土)

「私たちは、忘れない。」 キャンペーン

■東日本大震災復興支援の街頭募金を実施

震災から7年。佐賀県支部では、復興支援プロジェクト「私たちは、忘れない。」キャンペーンの一環として、ゆめタウン佐賀で街頭募金を実施。当日は、青少年赤十字高校メンバーや各奉仕団から50名を超えるボランティアの方の協力を得て、2時間呼びかけを行いました。お寄せいただいた義援金は、日赤本社を通じて全額被災地の配分委員会に送られ、被災者に届けられます。





左から江口さん、矢ヶ部さん、佐々木さん



佐賀県赤十字 しゃちの会 奉仕団

Red Cross Supporters

“ボランティアは生きがいです”

月に一度、佐賀県支部のボランティア室が、いちだんと明るく、そして賑やかになる。

県内に12ある奉仕団の中の一つ『佐賀県赤十字しゃちの会奉仕団』。支部が抱える郵送物やDM(ダイレクトメール)、広報誌などの膨大な仕分け作業を、月に一度集まり、ボランティアで行っていただいている団体。

所属しているのは女性ばかりで、子育てがひと段落した主婦の方やボランティア活動を趣味とする方など、いわゆる『地域のおばちゃん』たちだ。

平成元年に行政主催のボランティア講座を一緒に受け、そのときの仲良しメンバーで立ち上げたのが今のしゃちの会。「名前の由来はね、佐賀城の鯨(しゃち)の門からとったよ。」…と話すのは、立ち上げから30年間活動している矢ヶ部さん。立ち上げメンバーの中に元日赤看護婦の方がいらっしまったことが、赤十字の活動に参加するきっかけになったそうだ。

10年ほど前から参加するようになった江口さん。月に一度赤十字に集まり、皆とおしゃべりしながら作業するのが本当に楽しみだと言う。自宅から支部まで自転車で往復40分かかる道のりも、まったく苦にならない。…とのこと。

同じく10年ほど前から参加している佐々木さんは、福岡県柳川市と佐賀県佐賀市にまたがる大野島(大詫間)の出身。ここは日赤の創立者 佐野常民 の出生地である佐賀市川副町と隣接しており、若き日の常民が活躍した三重津海軍所があった早津江川沿いにある島だ。

地元の偉人である佐野常民には、子どもの頃から馴染み(憧れ)があったそうで、「今こがんで(こうして)赤十字のお手伝いができるとは、誇りでもあるとよ…」と、嬉しそうに話す佐々木さん。

最近ではメンバーの高齢化が進み、活動に参加できる方も少しずつ減ってきている。

「一緒に活動をしてくれる、若い人が増えたらよかねえ。」…と、3人は口をそろえて話す。

赤十字の活動は、多くのボランティアの方によって支えられています。

老若男女問わず、ボランティア活動に興味のある方は、ぜひ日本赤十字社佐賀県支部までお問い合わせください。



佐賀県支部

〒840-0843 佐賀市川原町2番45号
TEL.0952-25-3108

唐津赤十字病院

〒847-8588 唐津市和多田2430番
TEL.0955-72-5111

佐賀県赤十字血液センター

〒849-0925 佐賀市八丁畷町10-20
TEL.0952-32-1011



ご愛読
ありがとうございます。